

校長室より

つれづれ

平成28年1月27日(水)

定期的に『校長室便り』を発行していますが、ふと感じたことなどを『つれづれ』で皆さんに届けます。

きゅうしいちごん 九思一言

「皆さんは、『九思一言』という言葉を知っていますか。これは、何かを言おうと思った時、9つの角度から見て、本当に言うべきよく考えなさい、という意味です。普段何気なく使っている言葉が、いつの間にか相手を傷つけていたり、周りにいやな思いをさせているようなことがよくあります。また、自分ではそんなつもりはなかったのに、全く違ふとらえ方をされていることもあります。そのような事にならないように、普段から言葉を慎重に選ぶようにしましょう」

これは、昨日の全校集会で、生徒会長が皆さんに話した内容です

話に出てくる『九思一言』という言葉は、古代中国の賢者である孔子が、一言を発するにも九度も考えた、ということからきています。

孔子は、自分の発する言葉の重みを感じていたからこそ、発言内容についてさまざまな角度からとらえ、それを聞く人の立場になって考えていたのだでしょうね。

思いやりがあり、優しさのこもった言葉は、人を支える大きな力となります。

しかし、悪意のある言葉や、配慮のない言葉は、心をえぐる刃になるのです。

言葉は情報を伝えるだけでなく、人と人とを結ぶ大切なコミュニケーション手段です。よりよいコミュニケーションの基本は、互いにいやな思いをしないということが大前提です。だからこそ、発する言葉の一つ一つに注意を払わなければならないのです。あらためて、言葉のもつ力の大きさを考えてみましょう。そして、皆さん一人一人が、日頃から思いやりのある優しい言葉遣いを心がけてくれることを願っています。



<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

大阪市教育委員会 天下茶屋中学校で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>